

令和7年度愛媛県美術館協議会の開催結果について

- 1 会議の名称 愛媛県美術館協議会
- 2 開催日時 令和7年11月18日(火) 14:00~15:50
- 3 開催場所 愛媛県美術館 3階 会議室
- 4 出席者 愛媛県美術館協議会委員6名(4名欠席)、事務局5名
報道関係者1名、傍聴者なし
- 5 協議事項 すべて承認
(1) 令和6年度事業報告、令和7年度予算及び事業について
(2) 中期運営計画について
(3) 令和8年度企画展等について

6 主な意見

【事業報告・事業計画について】

●主要事業の成果について

- ・昨年度要望した来館者数以外の実績や成果について説明があり、努力されていることがよくわかった。
- ・道後温泉ものがたり展は、来館者数の実績だけでなく、地元県民にも観光客にとっても、歴史をふまえ、新たな魅力を知るよい機会になった。また、研究面や、地域との連携が得られた点でも評価できる。
- ・コレクション展はサブタイトルも工夫し、様々な展示方法を開発するなど、学芸員の研究の場としてもよい機会となっており、大事にして欲しい。
- ・全国巡回のミュシャ展においても、地元作家と関連付けた展示内容が評価できる。

●写真撮影について

- ・海外の著名美術館では写真撮影可能なところが多い。作品を身近に感じてもらうため、ぜひ積極的に検討してほしい。

【中期運営計画について】

●特別体験プログラムについて

- ・夜間開催の人数限定プログラムは、準備等大変だと思うが、募集人数が少なく、年に1回の開催ではもったいない。将来的に、拡大できればよい。
- ・文化観光の名のもとに試行するのはいいが、継続するなら、学芸員の日常業務に影響がないようにしてもらいたい。

【令和8年度企画展について】

●ファインアートについて

- ・わかりやすい企画展というのが好まれる傾向にあり、全国的に収支が取りにくいファインアートの分野は厳しくなっているが、描写力、造形力のある美術を見ることができ、目を養える美術館の役割は重要であり、コレクション展のような取組みを主軸にしていかなければいけない。

【その他】

●中庭の空間について

- ・イベント時に中庭で食事をされている様子を見て、ここはいい空間であり、2階展望ロビーとともに、もっと活用してはどうかと思った。

●対話型鑑賞について

- ・学校展開している対話型鑑賞について、子どもたちが鑑賞した所蔵作品を、家族と一緒に美術館に観に来てくれるようなしかけができれば、鑑賞の眼を養うとともに、来館につながられる。

●企業所蔵の美術品展開催について

- ・以前開催した地元企業の所蔵品展の第2弾を開催したらよいのでは。